

2016 年度

韓国留学報告書

留学先：キョンヒ大学

期間：9月4日（土）～12月24日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015006
石井千翔

目次

- 1 留学先及び期間
 - 2 留学先概要
 - 3 留学目的
 - 4 留学内容
 - 4-1 留学のスケジュール
 - 4-2 留学の詳細
 - 5 所感
 - 6 おわりに
- 謝辞

付録

留学日誌

1 留学先及び期間

留学先：キョンヒ大学 国際教育部

期間：平成 28 年 9 月 4 日(土)～平成 28 年 12 月 24 日(土)

2 留学先概要

(1) 大学について

キョンヒ大学は、韓国の首都であるソウルの東部の回基という地名に位置する。回基に位置するソウルキャンパスと、京畿道という地名に位置する国際キャンパスで成り立っている。数多くある学部の中でも、国際教育部は特に留学生を受け入れ、毎年さまざまな国から多くの留学生が来る。また、韓国の有名人も多く輩出している。

(2) 大学で行われている教育について

キョンヒ大学は、春期、夏期、秋期、冬期の 4 つの期間に分けて、毎年多くの留学生を受け入れている。最初にクラス分けのテストを行い、個人にあったレベルで授業を受けることができる。また、1 クラスの人数が少人数であるため、一人ひとりの意見を聞きやすく、より効率的な授業を展開している。

3 留学目的

今回の留学の目的は、韓国語の実力を上げるとともに、韓国語能力試験 (TOPIK) において、高得点を取ることができるようにするものである。韓国語コースでの授業のみでは、実力を伸ばすのに限界があると感じた。現地で実際に韓国人が話していることを聞いてリスニング力や語彙力を伸ばす、韓国人と一緒に会話をすることによって、スピーキング力を伸ばす、ということが必要であり、留学を行う。また、韓国関係の職に就くのであれば、TOPIK の点数が必要となる。高得点を狙うには、今までに習ったことのない単語が多く出題されるため、最後の 1 週間の授業で、TOPIK に向けての強化を図る。

4 留学内容

4-1 留学のスケジュール

- ・韓国到着日…9月4日(土)
- ・3週間授業…9月6日(月)～9月30日(金)
- ・現地学習1…9月8日(水)
- ・現地学習2…9月14日(火)
- ・10週間授業…10月3日(月)～12月9日(金)
- ・中間試験…10月31日(月)、11月1日(火)
- ・現地学習3…11月6日(日)、11月7日(月)
- ・期末試験…12月1日(木)、12月2日(金)
- ・1週間授業…12月12日(月)～12月16日(金)
- ・自由研修…12月17日(土)～12月23日(金)
- ・日本帰国日…12月24日(土)

4-2 留学の詳細

・3週間授業

午前中は、文法、リスニング、スピーキングを中心に学習した。ここでのクラスの人数は1クラス20人程度で、ほとんどが日本人であった。

午後は、国際情報大学の生徒のみの授業で、月曜日は映画の授業、火曜日は特別講義、水曜日は歌の授業、木曜日はゼミナール、金曜日は午後の授業はなしであった。月曜日の映画の授業は、韓国の映画を字幕なしで観て、1本の映画を観終わったら先生と振り返りをするという形式であった。合計で5,6本のさまざまなジャンルの映画を観て、韓国の映画を知ると同時に、リスニングやスピーキングの力を伸ばす、良い経験となった。火曜日の特別講義では、韓服を実際に着たり、韓国の伝統的な遊びを体験したり、学校長や卒業生の話を聞いたり、韓国だからこそできる経験をたくさんした。水曜日の歌の授業では、毎時間一人ひとりが好きな曲を1,2曲歌っていくという形式であった。授業の始めに、先生がその日歌う曲の説明をして下さり、気持ちをこめて歌うことができた。木曜日のゼミナールでは、最終的に一人ひとりが、韓国と日本の違いをテーマに発表するのを目標に、準備を進めていった。授業の序盤の方では、先生がいくつかの題材の日韓の違いを説明して下さい、発表の参考になった。

・現地学習1

民族村に行き、昔ながらの韓国の住宅を見学した。また、古代を背景としたドラマの主人公の模型と記念撮影を行った。昼食は、サムギョプサルという韓国

の有名なお肉を頂いた。その後、陶器作りを行った。作ったものは、後日、個人のところに届いた。

・現地学習 2

「ナンタ」という有名なミュージカルを鑑賞した。外国人用のミュージカルであるためセリフはすごく少なかったが、内容がよく伝わった。また、観光地で有名な「N ソウルタワー」を見学した。展望のブースからは、韓国を一望することができた。

・10 週間授業

午前中は、文法、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを中心に学習した。ここでのクラスの人数は1クラス 20 人程度で、さまざまな国の留学生と一緒にクラスになることができた。

午後の授業は、3 週間授業と同じであった。

・中間試験

10 月 3 日から習ってきた、文法、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの中間試験を行った。スピーキングは、先生との 1 対 1 形式と、クラスメート 1 人か 2 人と会話をする形式であった。

・現地学習 3

「ソラク山」という山に登山をした。1 泊 2 日で、留学生ほぼ全員で参加した。

・期末試験

10 週間授業の総まとめのテストをした。形式は、基本的に中間試験と同じであった。

・1 週間授業

午前中は、韓国語能力試験 (TOPIC) の対策勉強をした。過去の出題問題を解いていき、問題に慣れ、高得点を目指し先生の指導の下勉強に励んだ。

午後の授業は、3 週間授業と同じであった。

・自由研修

この期間では、学校が修了しているため、各々が行ってみたい場所に旅行したり、韓国でやってみたいことを体験したりと、自由な時間を過ごした。

5 目的、目標の達成

・韓国語の実力向上

実際に現地で過ごしたことにより、聞き取りが一番伸びたと感じる。お店で買い物をする際も、初めは話していることが分からないことが多かったものの、時が経つにつれて、ほぼ理解することができ、語彙力の向上にもつながった。

・TOPIC の高得点獲得

実際の試験をまだ未受験であるため、点数については差し控えるが、TOPIC の対策授業の後半で行った過去問では、高得点を取ることができた。しかし、完璧ではないため、間違えた箇所の復習や、分からなかった単語を覚えることが必要である。

6 反省、課題

4ヶ月間という短い期間ではあったが、多くのことを学び、とても充実した留学生活であった。

この留学で学んだことを今後に生かすとともに、せつかく現地で覚えた言葉を忘れることのないように、一層勉学に励みたいと思う。

謝辞

今回、キョンヒ大学国際教育部で指導をしてくださったキム・スンミン先生、イム・ジウン先生、イ・ヘナ先生、川上洋子さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、2016年度前期の授業、現地サポートをしてくださった申先生、吉澤先生には心より感謝いたします。最後に、国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

・11月6日 日曜日、11月7日 月曜日 2日間

内容

- ・バスで移動、4時間ほど
- ・ソラク山登山
- ・夜は宿泊先にて参加者全員でオリエンテーション
- ・2日目は海へ

天候に恵まれず大雨が降ってしまい、当初予定していたような登山はできなかったものの、きれいな紅葉は見る事ができた。

・12月6日 火曜日 夕方

内容

- ・国際情報大学のメンバーでミュージカル観賞
- ・移動は電車で 4駅ほどのところ

2回目の現地学習で観賞したものと同じように、外国人向けの作品であるためセリフは少なめであったが、内容は十分よく伝わった。公演の最後には、俳優のみなさんと記念撮影をした。